

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成27(2015)年10月15日発行(第173号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

まちなかループバス

10月1日から、商店街や病院などを巡回する「まちなかループバス」が運行を開始しました。

同路線は、既存のバス路線のルートを統合し、住宅地や利用者が多い施設を結ぶよう見直されたものです。

また、IruCa(イルカ)カードを利用しての電車とバスを乗り継いだ際の運賃割引や、70歳以上の市民の運賃が半額となるゴールドIruCaにも対応し、より一層、利便性の向上が図られています。

平成27年
9月定例会

目次

代表質問 …… 2～4

質疑・一般質問ほか …… 5～7

情報BOX …… 8

秋号

定例会の日程

- 9月4日 開会・提案説明
- 9日 代表質問
- 10日 代表質問・質疑
- 11・14日 一般質問
- 15日 一般質問・特別委員会審査
- 16日 常任委員会審査
- 18日 委員長報告・討論・採決、閉会



今定例会で決まった主な内容

- 市長提出議案
 - ▽ バス案内表示板の設置等に補助することにより、路線バスの利便性向上を図るための予算
 - ▽ マイナンバー制度の開始に伴い、個人番号カードの交付事務を円滑に行うための予算
 - ▽ 増加する外国人観光客の利便性向上を図るための予算
 - ▽ 老朽化した栗林小学校の校舎等を改築するための予算
- 条例
 - ▽ 空家等の適切な管理及び活用の促進を図ることに伴い、市民が安全で安心に暮らせるまちづくりの推進に寄与するための条例制定
 - ▽ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号の利用及び特定個人情報の提供を行うための条例制定
 - ▽ いじめ防止対策推進法に規定する重大事態に係る調査、検証等を行う高松市いじめ問題調査委員会を設置するための条例制定

平成27年第4回高松市議会定例会は、9月4日から9月18日までの15日間の日程で開かれました。
今定例会では、平成27年度一般会計補正予算など30議案を可決するとともに、議員提出議案2件のうち1件を否決、1件を継続審査としました。また、請願1件を不採択としたほか、人事案件7件に同意しました。

代表質問

各会派を代表して、森川輝男（議員会）・辻正雄（同志会）・大山高子（公明党）・中西俊介（補選）の4人の議員が質問しました。

質問の主な内容

- 森川輝男議員（議員会）**
政治姿勢・行財政・まちづくり・観光振興・環境・防災・福祉・教育・上下水道事業
- 辻正雄議員（同志会）**
政治姿勢・高松版地方創生・地域コミュニティ・創造都市推進・交通安全対策・福祉・農業・教育など
- 大山高子議員（公明党）**
たかまつ創生総合戦略（仮称）・行財政関連・がん対策・生活困窮者自立支援制度・女性の活躍推進など
- 中西俊介議員（補選）**
財政・創造都市推進・健康推進の取り組み・住宅政策・離島振興

政治姿勢

「G7香川・高松情報通信大臣会合」の成功に向けて全力で取り組み

来年5月に開催される「伊勢志摩サミット」に先立ち、同年4月に「G7香川・高松情報通信大臣会合」が本市で開催されます。

質問 本市が会合の開催地に選ばれたことは大変名誉なことであるが、その所見は。【議員会】

会合の開催により、国内はもちろん、世界に対しても本市の知名度アップが見込まれるが、期待と所見は。【同志会】

会合が、本市に人を呼び込み、人々の交流をふやしていく契機になることを期待するが、成功に向けた意気込みは。【補選】

答 会合は、本市や香川県、全国の知名度向上や経済波及効果を生むだけでなく、国内外に本市の多様な魅力等を発信する絶好の機会であり、今回の決定はまことに喜ばしい。

また、開催時期が大型連休に当たり、瀬戸内国際芸術祭関連作品も展示され、相乗効果による観光客の増



情報通信大臣会合が開催されるかがわ国際会議場

加が期待できるため、積極的に本市のPRに努める。現在、県と連携して受け入れ体制を整備しており、今後とも、国や県、関係機関と連携し、会合の成功に向けて全力で取り組み。

質問

働くことを希望する女性を応援する女性活躍推進法の成立により、国や地方公共団体、企業の取り組みがさらに加速すると期待するが、同法成立への所見は。【公明党】

答 働きたい女性が、その意思により職業生活を営み、能力を十分発揮できる社会づくりが着実に進むと期待している。

また、女性の活躍は、地域経済の活性化にもつなが

行政改革

るため、同法の趣旨を踏まえて、たかまつ創生総合戦略（仮称）に関連施策を反映するとともに、第四次たかまつ男女共同参画プラン（仮称）を取りまとめたい。

連携中核都市圏

活力を失わない都市圏形成のため、中心都市として牽引力を発揮する

質問

本市は、周辺2市5町と構成する定住自立圏の連携を強化し、「瀬戸・高松広域連携中核都市圏」への発展的移行を目指すとしているが、そのメリットは。【議員会】

連携中核都市圏構想は、地方自治体が互いに連携を強化し、個々では達成困難なテーマにも新たに組み込むものであるが、同構想に移行する目的と、その思いは。【同志会】

答 本市が移行を目指す連携中核都市圏では、市町村連携の可能性が格段に拡大され、活力を失わないための都市圏形成により多面的に取り組めるなどのメリットが得られる。そこで、人口減少社会にあって、一定の人口を維

持しながら、より強固な圏域を形成し、持続的な地域社会の形成に貢献できるよう、中心都市として牽引力を発揮する。

マイナンバー制度

繰り返し周知を行い、理解の促進に努める

質問

マイナンバー制度の狙いは、利便性の向上や公正・公平さの確保などにあるが、国民の認知度はまだ低い。今後の周知のあり方は。【議員会】



答 同制度については、改めて国に対し徹底した周知を求めていくとともに、本市でも、制度への不安を払拭するため、特定個人情報管理方式や、住民の負担が軽減されること

の利便性など、制度に関するあらゆる情報を広報紙へ掲載するほか、出前講座やホームページ等、さまざまな機会を通じて繰り返し周知し、理解の促進に努める。

屋島陸上競技場（仮称）へのネーミングライツの導入を検討する

【質問】

屋島陸上競技場（仮称）等の公共施設に、少ない経費で一定の自主財源が確保できる点で魅力的なネーミングライツを導入する考えは。

【議員会】

【質問】

導入に適した施設もあるが、民間活力を利用した有効な自主財源確保策であるため、現在整備中の屋島陸上競技場（仮称）への導入を検討するとともに、その他の公共施設についても、課題等を総合的に勘案しつつ、個別に、その可能性を検討する。

提言を踏まえ、中央卸売市場の再整備計画の策定を進める

【質問】

本年5月、高松市中央卸売市場開設運営協議会から、老朽化が進む同市場の青果部を移

転・新設する再整備案の策定を求める提言書が提出されたが、その受け止めは。

【市庁議員】

【質問】

工期・工費の面から、青果棟の移転による整備計画案を策定する等の提言の方向性を踏まえ、本市市場が市民に対して、引き続き生鮮食品等を安定的・効率的に供給する使命を果たせるよう、再整備計画の策定を進める。

まちづくり

瓦町駅周辺地域の活性化に積極的に取り組む

【質問】

本市の重要な交通結節拠点であるコトデン瓦町駅周辺地域の活力が大きく後退しているが、「瓦町FLAG」のオープンを契機として、同地域の活性化に積極的に取り組む考えは。

【議員会】

【質問】

コトデン瓦町駅周辺の人流を創出し、商店街との回遊性を高めることが重要であるため、同ビル8階で文化芸術ゾーン等にぎわいの創出を図るほか、2階の屋外公スペースを活用した新たなにぎわい

ポットの創設に努めるなど、瓦町駅周辺の活性化に積極的に取り組む。



瓦町FLAGとしてリニューアル予定のコトデン瓦町ビル

若者に選ばれ育てしやすいまちづくりに取り組む

【質問】

高松版地方創生を展開する上で、若い世代の本市への移住を進めるため、若者から選ばれ、子供を生み育てやすいまちづくりに向けて取り組む考えは。

【同志会】

【質問】

今後、子育て世帯的負担軽減策の検討や、まち全体の魅力等の情報発信を行うとともに、「高松市子ども・子育て支援推進計画」に掲げる施策・事業を着実に実施することにより、若者が住んでよかった、住んでみたい、そして、子供を生み育てたいと思うまちづくりに鋭意取り組む。

措置の手順等を盛り込むなど、実効性のある空家等対策計画を策定する

【質問】

高松市空家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例議案で策定することとなっている空家等対策計画の基本的な考え方は。

【市庁議員】

【質問】

空家等対策の推進等に即した内容とするともに、市議会等の意見も踏まえ、空家等の適切な管理及び活用に対する所有者等の意識の醸成に向けた取り組みや支援策、特定空家等の判断基準や措置の手順等を盛り込むなど、実効性のある計画とする。

産業振興

伝統的ものづくりの効果的なプロモーションに努める

【質問】

現在開催中のミラノ万博では、県と市が連携して盆栽のライブショーやワークショップを開催するなど、本市特産品を海外にPRする、またとない機会となったが、今後ともヨーロッパ等に紹介する考えは。

【議員会】

【質問】

盆栽、漆器、石製の品等の伝統的ものづくりの振興を図るためには、購買力の高い海外市場への販路拡大が重要であることから、今後とも、今回のミラノ万博のような機会を捉え、県や関係機関と連携を図りながら、本市伝統的ものづくりの効果的なプロモーションに努める。



中小企業等が真に必要とする支援策を国等へ要望する

【質問】

中小企業に対して行った経営課題等に関するアンケート調査の結果の受けとめと、調査結果を踏まえ、国・県等に支援策を要望する考えは。

【市庁議員】

【質問】

調査結果によれば、業者ほど経営状態が苦しい実態が浮き彫りとなったほか、各事業者が重点的に取

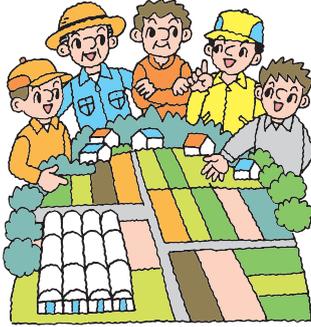
農業

集落営農組織の設立や拡大を推進

り組むべき課題は、人材の育成や確保等、人材にかかわるものが大部分を占めている。
この結果を受け、今後、中小企業・小規模事業者が真に必要な支援策を、全国市長会等を通じて国等に要望していく。

質問

農業・農村の最大課題である後継者不足や耕作放棄地の増加等を解決するためには、集落営農を推進することが最善の方法だが、具体的な取り組みは。
【同志会】



答弁

集落営農の推進にリーダーの確保と関係農家の理解が重要で

福祉

来年度から、幼稚園や保育所等に同時に在園する二日目以降の利用料を無料化

あるため、JA等と連携した説明会等の開催や、県の助成制度を活用して、組織設立の支援を行っている。
また、麦の作付を対象とする国の「経営所得安定対策交付金」の交付が集落営農等の担い手に限定されたことを機会に、より一層、集落営農組織の設立や拡大を推進する。

質問

昨年9月定例会で、幼稚園・保育所の第2子以降の多子減免について、平成28年度からの実施に向けて検討すると答弁していたが、その後の取り組み状況は。
【自民党】

答弁

検討の結果、幼稚園や保育所等に同時に在園する子供の二日目以降の利用料を無料とし、子供が何人いても最大一人分の利用料負担で済むよう減免措置を拡充する。

今後、市議会の意見を聞いた上で、来年度からの実施に向け、保護者や関係団体に周知していく。

福祉

妊娠から出産までを、ワンストップで同じ専門家が継続的に支援する高松版ネウボラをつくり、安心の出産、子育てを実施する考えは。

来年から高松版ネウボラ「子育て世代包括支援センター」を順次展開する



子育て世代包括支援センターが設置される高松市保健センター

答弁

高松版ネウボラともいうべき「子育て世代包括支援センター」では、妊娠期から子育て期の各段階の支援プラン策定や相談を行うほか、関係機関と連携を図るなど、包括的な支援を行う予定である。同センターは、来年4月に保健センター内に設置し、平成29年以降整備予定の6つの総合センターで、順次展開していく。

市有施設の敷地内・建物内禁煙

平成30年度末までに100%実施できるよう検討する

質問

本市では、市有施設敷地内・建物内禁煙を、平成35年度に100%とする数値目標を設定しているが、目標達成の前倒しをするなど、さらなる受動喫煙防止対策を強化する考えは。
【公明党】

答弁

健康都市高松の実現を目指す本市にとって、たばこによる健康被害への対策は極めて重要な課題であることから、市有施設の敷地内・建物内禁煙100%実施の達成時期を5年程度前倒しして、原則、30年度末までに実施できるよう検討する。

教育

高松を愛し、貢献する高い志を持った人材の育成に努める

質問

志の教育として、将来の高松を担う子供たちに、みずからを律する姿勢を育てることが重要と考えるが、取り組む考えは。
【同志会】

答弁

8月に行われた「高松市子ども議会」で、児童生徒が、みずからの行動を振り返り、よりよく行動するための指針として作成した「高松市子ども宣言」を全小中学校で効果的に活用し、自主自律の精神や創造性の育成を図り、ふるさと高松を愛し、貢献する高い志を持った人材の育成に努める。

質問

不登校の小学生が2年連続増加したことを受け、文部科学省が今後の支援拡充を決定したとのことだが、本市の不登校児童生徒の現状と今後の対策は。
【公明党】

答弁

平成26年度の本市の不登校児童生徒数は、小学校59人、中学校33人で、前年度に比べ減少している。
これまで、その対策として、日常的な家庭訪問や適応指導教室における支援等を行うとともに、学校や関係機関と連携して保護者への支援を行ってきたとおり、今後とも、これらの取り組みの一層の充実と外部人材の有効活用を努める。

質 疑

今定例会に提出された議案について、2人の議員が質疑しました。

栗林及び太田放課後児童クラブの定員や教室をふやす考えは

岡田まなみ議員（知産党）

質 疑

共働きやひとり親家庭等の増加により、学童保育を必要とする家庭がふえているが、児童数が多く、待機児童も発生している栗林及び太田放

課後児童クラブの定員や教室数をふやす考えは。



答 弁 整備計画では、栗林放課後児童クラブ

は2教室・定員80人から4教室・160人に、太田放課後児童クラブは2教室・定員80人から3教室・120人とする予定である。

【他の質疑▼住民基本台帳事務・高松市市税条例など】

なく、街の活性化につながる政策と捉え、地域に応じたコミュニティ交通を導入する考えは。



答 弁 全市域を対象とした公共交通ネットワーク

の構築には、コミュニティ

マイナンバー制度に関する市民からの相談・問い合わせへの対応体制は

太田安由美議員（祝詞連）

質 疑

マイナンバー制度について、国は問い合わせ先を市区町村としているが、市民からの相

談・問い合わせへの本市の対応体制は。



談・問い合わせへの本市の対応体制は。

答 弁 制度全般に関する

問い合わせは人事課行政改革推進室が、その他は各所管課で対応している。なお、個人番号の通知やカードの交付については、10月からコールセンターを設置して対応する。

【他の質疑▼いじめ問題調査委員会条例など】

マイナンバー制度に関する市民からの相談・問い合わせへの対応体制は。

今後とも、地域住民の主体的な取り組みを促しながら、それぞれの地域の実情に即したコミュニティ交通の確保・充実を図るため、適切な支援に努める。

【他の質問▼市立病院のさらなる改善など】

郷東檀紙西線及び香西東町香西南町線の整備の進捗状況と今後の見通しは

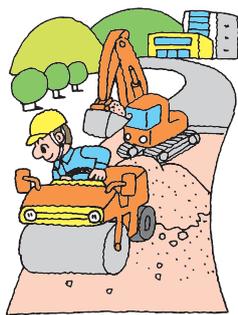
大橋光政議員（同志会）

質 問

地域住民が早期の供用開始を熱望している都市計画道路郷東檀紙西線及び香西東町香西南町線の整備の進捗状況と今後の見通しは。

答 弁 昨年度末現在の事業費ベースによる進

【他の質問▼観光振興・防災対策・浸水対策など】



本市オリジナルの婚姻届を作成する考えは

竹内俊彦議員（公明党）

現状では提出するだけの婚姻届に、

市としてお祝いの気持ちをあらわす工夫をし、広く市民に結婚支援の取り組みをPRするために、本市オリジナルの婚姻届を作成する考えは。

答 弁 婚姻届の様式は、創意工夫により柔軟

に対応できることから、婚姻を支援する、形に残る温かい対応として、他の自治体の事例を参考に、オリジナル婚姻届の作成に向けて検討する。

【他の質問▼教員の負担軽減とチーム学校など】



一般質問

一 般 質 問

市政の、さまざまな課題について、12人の議員が質問しました。

地域に応じたコミュニティ交通の導入を

西岡章夫議員（自民党）

質 問

公共交通を、高齢者のためだけで

三溪放課後児童クラブの待機児童解消に向けた対応は
造田正彦議員（新う紙）

質問 市街地化が進む三溪小学校区では、保護者から放課後児童クラブに入会できないとの声が聞かれるが、待機児童解消に向けた対応は。



答弁 三溪放課後児童クラブについては、地元コミュニティ協議会等から、小学校隣接農地の取得によるクラブ整備の要望書が提出されており、今後、当該土地の利用についての法的適合性等の調査結果や整備期間等を勘案した上で対応策を決定する。

【他の質問▼教員の負担軽減・農業問題など】
全ての学童保育の実態を調査し、施設の早急な改善を
藤沢やよい議員（相産社）

質問 学童保育については、空調の改修やトイレの増設など多くの要望があるが、子供たちの健全な育成のため、全ての施設の実態を調査し、早急に改善すべきでは。

答弁 毎年8月に公立放課後児童クラブに対して実施している要望調査に加え、今年度は、支援員への施設及び設備等に関するアンケート調査を行っており、今後、この調査結果をもとに、緊急度等を勘案して施設の計画的な整備を行う。

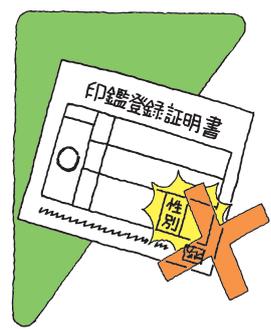
【他の質問▼保育所等の待機児童及び保育料など】
アンケート調査
施設・設備等



印鑑登録証明書の性別記載を削除する考えは
植田真紀議員（裾ッ草）

質問 性的マイノリティに対する支援の

取り組みとして、申請書等の不要な性別記載欄をなくしていくべきと考えるが、本市の印鑑登録証明書の性別記載を削除する考えは。

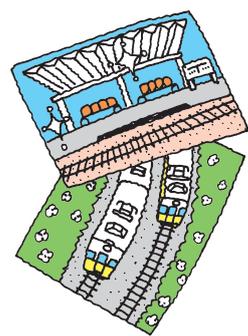


答弁 同証明書の印鑑の正当性を保証するという目的においては、性別記載は必ずしも必要ではないことから、今後、関係条例の改正等、性別記載の削除を検討する。

【他の質問▼市民活動団体に対する支援など】
琴電琴平線の新駅設置と複線化事業の早期実現を
十川信孝議員（鮎貝鏡）

質問 本市の基幹路線である琴電琴平線の2つの新駅設置や複線化事業は、整備計画が分割され、延期・消滅が危惧されるが、早期実現に取り組み考えは。

答弁 市民に幅広く利用される利便性の高い公共交通ネットワークを形成する観点から、新駅設置や複線化事業が早期に実現するよう、引き続き、国や関係機関との協議・調整等に積極的に取り組む。



高松市あんしん通報サービス事業の進捗状況と周知は
藤原正雄議員（鮎貝鏡）

質問 さまざまな相談サービスが24時間利用できる高松市あんしん通報サービス事業について、事業内容の、さらなる周知が必要と考えるが、同事業の進捗状況と周知は。

答弁 現在、同事業は、緊急通報装置貸与等事業からの移行と新規を合わせ、47人が設置し、順調に進捗している。

引き続き、緊急時の駆けつけなど利用者が選択できる本事業の特色を市民や関係機関等に周知し、円滑な移行と新規設置につなげる。
【他の質問▼教育問題・移住促進の取り組みなど】



総合窓口を設置し、女性の活躍を支援する考えは
田井久留美議員（公明党）

質問 市長は、マニフエストに女性の社会進出の支援を掲げているが、就労サポートのための総合窓口設置など、女性の活躍を支援する考えは。

答弁 女性の就労等をサポートする総合窓口



【答弁】 同カウンターの設置には、設備導入等に係る経費を要するなどの課題はあるが、購買意欲の喚起と、外国人の旅行需要の拡大促進など観光振興に



【質問】 外国人観光客の買意欲高場のため、商店街等に免税手続一括カウンターの設置を推進する考えは。

【質問】 商店街等に免税手続一括カウンターの設置を推進する考えは
白石義人議員（自派脱党）

の設置については、女性活躍推進法に基づく国の基本方針等を踏まえ、移転整備後の男女共同参画センターの活用も視野に入れ、その機能が果たせるよう検討を進める。
【他の質問】 地域医療を守る取り組みなど

【答弁】 子供たちを交えた世代間交流は、高齢者の生きがいづくりや地域の活性化にも有意義なため、今後、具体策を検討する。また、生活支援コーディネーターが居場所に出向き、運営上の相談に応じるなど、新しい取り組みも行うこと



【質問】 介護予防策として実施している高齢者居場所づくり事業について、子供たちとの交流も視野に入れた、費用面・運営面での、さらなる支援策は。

【質問】 高齢者居場所づくり事業への、さらなる支援を
大見昌弘議員（自派脱党）

効果があるため、設置が推進されるよう商店街等に働きかけていく。
【他の質問】 市立大学の設置・航空路線拡充など



【答弁】 今後、高松市コミュニティ協議会連合会との連携のもと、財務会計マニュアルを作成し、会計処理等の、さらなる適正化を促すとともに、税理士等専門家の協力を得ることも検討し、会計事務の標準化を進める。
【他の質問】 たかまつ創生総合戦略に向けてなど

【質問】 地域コミュニティ協議会の協議会の会計事務にはルール化が必要と考えるが、会計監査のあり方と、会計事務システムを標準化する考えは。

【質問】 地域コミュニティ協議会の会計事務の標準化を
二川浩三議員（自派脱党）

としており、今後とも、さまざまな支援を充実させる。
【他の質問】 防災・空き地の適正化条例制定など

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち10件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	会派別賛否						
		自民党議員会	同志会	公明党	市民フォーラム21	日本共産党	市民派改革ネット	無所属
平成27年度高松市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
平成27年度高松市競輪事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
高松市男女共同参画センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
市町村の合併の特例に関する法律第5条の4第1項及び第2項の規定に基づく高松市塩江地区地域審議会の設置並びにその組織及び運営に関する協議等により定められた事項の一部を変更する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	×	○
高松市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	×	○
高松市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	×	○
高松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	×	○
高松市市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	×	○
議員提出案 共通番号(マイナンバー)制度の実施には慎重に対応することを求める意見書	否決	×	×	×	×	○	○	×
請願 四国電力伊方原子力発電所の過酷事故から高松市民の命と暮らしを守るための対策を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の活動など

●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

新病院等整備	8月17日	新病院の医療機能及び実施設計の見直しについて
		新病院整備事業費等

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	8月4日	高松市公共施設有効活用・再配置等方針(案)について
	9月16日	行政不服審査法の改正に伴う事務処理体制等の整備方針(案)について
教育民生	9月16日	幼稚園・保育所等利用料の多子減免(第2子以降の市単独減免)について
経済環境	8月14日	高松市立ヨット競技場再整備実施設計(案)について
		高松市環境基本計画の策定について
		衛生処理センター(亀水町)跡地利用について

●議会運営委員会

7月24日、8月7日・17日に、議会運営の改善等について協議しました。

●議員全員協議会

9月3日に、第6次高松市総合計画(仮称)基本構想原案についての説明を受け、協議しました。

決算審査特別委員会

平成26年度の決算を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。

(定数10人)

◎中西俊介(勇→勝)◎小比賀勝博(鼠賢荃)
 大橋光政(同志会)川崎政信(同志会)
 大見昌弘(鼠賢荃)田井久留美(公明党)
 坂下且人(鼠賢荃)橋本浩之(鼠賢荃)
 中村秀三(公明党)杉本勝利(鼠賢荃)
 (◎委員長 ○副委員長)

人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

●人権擁護委員候補者

岡下敬子氏 荒谷節子氏
 平田くみ江氏 吉原忠男氏
 國方育子氏 橋本佳子氏
 山崎美恵子氏

高松市議会基本条例について(第2回目)

去る4月1日から施行している、議員の活動指針である議会基本条例の概要について、本紙上で、シリーズ化してお知らせしています。

第2回目は、「第1章 総則」についてです。

- この条例は、議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本的事項を定め、議会がその権能をいかに発揮することにより、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的とします。
- 議会は、市民の意思を市政に反映させるため、公平かつ公正な議論を尽くし、真の地方自治の本旨の実現を目指します。
- 議会は、次に掲げる基本方針に基づいた議会活動を行います。
 - ・積極的な情報公開に努め、可能な限り市民の参画機会を保障します。
 - ・市長等の事務執行について調査、監視及び評価を行います。
 - ・議員相互の自由な討議を活性化し、政策提案及び政策提言に取り組みます。
 - ・議会改革を継続的に推進します。
- 議会に関する他の条例等の制定又は改廃を行うときは、この条例の理念を反映させ、この条例に定める事項との整合を図ります。

